

秋田・湊城跡
みなとじょう

- 1 所在地 秋田市土崎港中央三・五・六丁目
- 2 調査期間 二〇〇六年(平18)七月～十一月
- 3 発掘機関 秋田市教育委員会
- 4 調査担当者 小松正夫・西谷 隆・安田忠市・進藤 靖・鎌田 英智・神田和彦・小野隆志・伊藤才城
- 5 遺跡の種類 城館跡
- 6 遺跡の年代 中世・近世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要
湊城は、鎌倉時代以降日本海海上交易で繁栄した津軽の豪族安東氏が、海港が近接する地に築城した城館と言われる。



(秋田)

秋田都市計画道路事業に伴い、二〇〇五年から調査を実施している。二〇〇六年度調査の調査地はJR奥羽本線土崎駅の西方約二〇〇mの所にある土崎神明社に隣接した街区公園北側に

位置する。検出した主な遺構は、安土桃山時代から江戸時代末期までの溝跡や土坑・堀跡などである。

木簡は、堀跡の埋土から一点出土した。堀跡の調査は上層部のみ行なったため、堀の造成年代は特定できないが、江戸時代の古絵図で描かれている堀の一部と考えられる。

8 木簡の釈文・内容

(1) 「十番」

220×130×12 065

三角形をなす番号札と考えられる。中央部に一カ所と下端に二カ所、釘孔と考えられる孔がある。側面は裏側から斜めに整形されている。

9 関係文献

秋田市教育委員会『秋田市湊城跡―秋田市都市計画道路事業〔土崎駅前線〕に伴う発掘調査報告書〔平成18年度調査区〕(二〇〇八年)

(西谷 隆)

